

回 覧

平成 24 年 7 月 6 日

葉山町の皆様

神奈川県立近代美術館

期間限定 彫刻プロジェクトに関する現状の報告 3

日ごろから、当館の活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

期間限定の彫刻プロジェクトについて、前回の回覧板（平成 24 年 6 月 21 日付）でご報告した内容から変更がありましたので、お知らせ致します。

期間限定 彫刻プロジェクト

アントニー・ゴームリー 彫刻プロジェクト IN 葉山

TWO TIMES — ふたつの時間

1. 彫刻の設置検討場所を、海岸以外の場所に変更します

一色海岸での設置検討場所について、これまでもご報告してまいりましたように、マリン・スポーツやライフガードなど、海に関する活動をする方々に積極的なご協力をいただきながら、彫刻の設置と海辺での活動の安全との共存をはかれる方法を探してまいりました。6 月 21 日付の回覧板でご報告したように、三ヶ岡駐車場の下の浜辺と、美術館直近の浜辺の 2 ヲ所を変更後の彫刻の設置場所の候補地として検討していました。

また、併せて、海岸への彫刻の安全な設置方法の検討も行っていました。

海岸の地質の状況を調べ、彫刻とその土台の構造等の検討を進め、地震・津波等への対策も含めた万全の対応を考えてきておりましたが、地震・津波等への不安が払拭しきれないことから、海岸に彫刻を設置することは難しいと判断いたしました。

一色海岸での設置に期待しご支援くださった皆様、設置検討場所を探すために我々との話し合いに丁寧に応じてくださった方々、そのほかご協力くださった多くの方々に、大変申し訳ない結果となりましたが、海岸を設置検討場所から除外し、海岸以外の場所での設置を引き続き検討することといたしました。

2. このプロジェクトによる地域との交流

このプロジェクトは、彫刻の設置を契機として地域との交流をはかることが主眼のプロジェクトです。これまで、町内会総会への出席、2度の懇話会（6月4日、10日）開催、お電話やご来館いただいていた話し合い、一色海岸と一緒に歩きながらの相談など、様々な形で多くの方との交流を図ってまいりました。ご意見をいただきながら関係の方々と直接話し合いを重ねてこられたことで、一色海岸や三ヶ岡の自然や歴史、暮らしについて、多くのことを学ばせて頂きました。通常の美術館活動の範囲では直接お目にかかることの少ない方と多くの貴重な出会いを重ねることができたことは、当館にとっての大きな財産となりました。この出会いを、今後のプログラムに活かすべく内容を練っております。ご意見ご協力をくださった全ての方々に、心からお礼申し上げます。

今後も、地域の皆様と一体となってこのプロジェクトを進めていくことができるよう、様々な工夫を重ねていく所存です。

3. プロジェクトの今後について

彫刻プロジェクト自体は継続しており、最初にご説明したとおり、現在、彫刻の設置場所や設置時期などについて検討を進めております。また、各種のプログラムについての、具体的な案づくりも進めており、作家であるアントニー・ゴームリーさんとの交流会（11月初旬に予定）をはじめ、ワークショップなど、地域の皆様にご参加いただける多様なプログラムを計画しています。ひきつづき、このプロジェクトにご期待頂きたく存じます。

今後の設置場所、設置時期などについては、現在あらためて調整中です。プログラムの内容、申込等も含め、お知らせできる段階になりましたら、順次当館ホームページ等でご案内してまいります。

◆神奈川県立近代美術館ホームページ <http://www.moma.pref.kanagawa.jp/>

◆ニュース欄 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp/public/NewsTop.do>

神奈川県立近代美術館

アントニー・ゴームリー 彫刻プロジェクト IN 葉山

TWO TIMES — ふたつの時間

担当：館長 水沢勉（みずさわ つとむ）

学芸員 李美那（り みな）、彦根延代（ひこね のぶよ）

連絡先：神奈川県立近代美術館 葉山 （代表）046-875-2800